

2023年4月3日
株式会社三菱UFJ銀行

菊水化学工業株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

菊水化学工業株式会社（代表取締役社長 今井田 広幸）は、本商品にてタームローン契約を締結いたしました。また、MUFJ ESG 評価において、「十分な ESG 経営」であるとの評価を受けました。

仕上塗材メーカーである菊水化学工業株式会社は、社是である「みんなのために よりよい商品ゆたかな愛情」のもと、社会性、科学性、人間性の追求と、売上利益のみならず、環境との調和を図っています。これまでも、これからも社会の一員として、持続可能な社会の実現に向け取り組み、事業活動を通して、SDGs の達成を目指しています。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

環境側面 (E) :

- ✓ 中期経営計画にて環境に関連する目標が策定され、取り組みについて経営層が関与する形でレビューされる体制が整備されている点
- ✓ 連結対象であるグループ全社のスコープ 1 及びスコープ 2 排出量を算定・把握。また自社に関連するすべてのスコープ 3 カテゴリーについて算定されている点
- ✓ 環境に配慮した製品の販売実績を従業員の評価に反映できる仕組みを構築している点

社会側面 (S) :

- ✓ 女性従業員比率の公表や、女性社員を中心にした商品開発プロジェクトの実施などを通じ、従業員の多様性を促進している点
- ✓ 「アスベスト研究会」を立ち上げ、アスベスト除去に関する取り組みを実施し、それをウェブサイトに公表している点

ガバナンス側面 (G) :

- ✓ 「リスク管理規定」に従って常務会にリスク情報を収集し、重要リスクを特定・評価するとともに、その重要性に応じてリスク対応、万一リスクが生じた場合に備え、「危機管理規定」を制定するという形で緊急事態対応体制を強化している点

- ✓ 行動憲章（行動綱領）を制定し、部署内への提示及び社員用手帳に記載する形で全従業員に周知する仕組みを整備している点
- ✓ 過半数を社外取締役で占める氏名報酬委員会を設置しており、役員等の報酬決定の透明性及び客観性を確保している点

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上